

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公表特許公報(A)

(11)公表番号
特表2025-515844
(P2025-515844A)

(43)公表日 令和7年5月20日(2025.5.20)

(51)国際特許分類
B 6 5 D 85/10 (2006.01)

F I
B 6 5 D 85/10

テーマコード (参考)
3 E 0 6 8

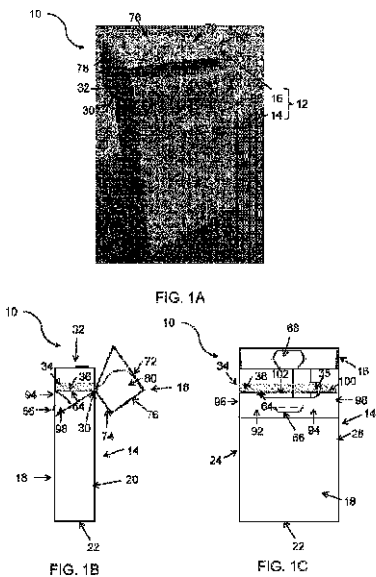
審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全29頁)

(21)出願番号	特願2024-566795(P2024-566795)	(71)出願人	516004949
(86)(22)出願日	令和5年5月10日(2023.5.10)		ジェイティー インターナショナル エス
(85)翻訳文提出日	令和6年11月12日(2024.11.12)		エイ
(86)国際出願番号	PCT/EP2023/062500		スイス国 1 2 0 2 ジュネーブ, ルー
(87)国際公開番号	WO2023/217907		カゼム ラジャヴィ 8
(87)国際公開日	令和5年11月16日(2023.11.16)		8, rue Kazem Rad j a v i
(31)優先権主張番号	22173368.6		, 1 2 0 2 Geneva, SWITZ
(32)優先日	令和4年5月13日(2022.5.13)		ERLAND
(33)優先権主張国・地域又は機関	欧州特許庁(EP)	(74)代理人	100118902
			弁理士 山本 修
(31)優先権主張番号	23158062.2	(74)代理人	100106208
(32)優先日	令和5年2月22日(2023.2.22)		弁理士 宮前 徹
(33)優先権主張国・地域又は機関	欧州特許庁(EP)	(74)代理人	100196508
			弁理士 松尾 淳一
(81)指定国・地域	AP(BW,CV,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ	(74)代理人	100210398
	最終頁に続く		最終頁に続く

(54)【発明の名称】 喫煙物品用ポケット

(57)【要約】

喫煙物品用のポケット（１０）が開示されている。ポケットは、本体（１４）と蓋（１６）とを含む、外側ケーシング（１２）を含む。本体は、正面パネル（１８）；背面パネル（２０）；底面パネル（２２）；第１の側面パネル（２４）；及び第２の側面パネル（２６）を含み、これらは協働して、底面パネルの反対側に開口部（２８）を有する主コンパートメントを画成する。蓋と本体の背面パネルとの間にヒンジ（３０）が形成されて、蓋が開放位置と閉鎖位置との間で可動となるようにする。ポケットは、さらに、実質的に直方体のパウチ（３２）を含み、このパウチは：正面主要部分（１１０）；背面主要部分（１１２）；上面小部分（１１４）；底面小部分（１１６）；第１の側面部分（１１８）；及び第２の側面部分（１２０）を含み、パウチは主コンパートメントに受け入れられて、パウチが主コンパートメントから開口部を通して突き出るようにし、パウチは、蓋が閉鎖位置にあるとき、外側ケーシングに完全に入れられるようにし、パウチは、セルロースペースの包み紙（１２２）を含む。開封テープ（３４）が、パウチに取り付けら



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

喫煙物品用のポケットであって、

本体及び蓋を含む、外側ケーシングであって、

前記本体は、正面パネルと、背面パネルと、底面パネルと、第 1 の側面パネルと、第 2 の側面パネルとを含み、これらは協働して、前記底面パネルの反対側に開口部を有する主コンパートメントを画成し、

前記蓋と前記本体の前記背面パネルとの間にヒンジが形成されて、前記蓋が開放位置と閉鎖位置との間で可動であるようにする

外側ケーシングと、

実質的に直方体のパウチであって、正面主要部分と、背面主要部分と、上面小部分と、底面小部分と、第 1 の側面部分と、第 2 の側面部分とを含み、前記パウチは前記主コンパートメントに受け入れられて、前記パウチが前記主コンパートメントから前記開口部を通して突き出るようにし、前記パウチは、前記蓋が前記閉鎖位置にあるとき、前記外側ケーシングに完全に入れられるようにし、前記パウチはセルロースベースの包み紙を含む、実質的に直方体のパウチと、

前記パウチに取り付けられ且つ前記パウチの長さに対して横断方向に前記パウチの周りに延在するように配置された開封テープであって、前記ヒンジの上に位置決めされるようにする、開封テープと

を含み、

前記開封テープは、前記パウチの底部セクションから前記パウチの上部セクションを分離するために、使用者によって引っ張られるように構成され、

前記パウチの前記上部セクションは、前記パウチの前記上面小部分と、前記正面主要部分と、前記背面主要部分と、前記第 1 の側面部分と、前記第 2 の側面部分との少なくとも一部を含み、

前記パウチの前記底部セクションは、前記パウチの前記底面小部分と、前記正面主要部分と、前記背面主要部分と、前記第 1 の側面部分と、前記第 2 の側面部分との少なくとも一部を含む、

喫煙物品用のポケット。

【請求項 2】

前記開封テープはパウチ全体の周りに延在する、

請求項 1 に記載のポケット。

【請求項 3】

前記開封テープは、前記パウチの前記上面小部分よりも前記ヒンジの近くに位置決めされる、

請求項 1 又は 2 に記載のポケット。

【請求項 4】

前記開封テープの底縁は、前記ヒンジと実質的に同じ高さに配置される、

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のポケット。

【請求項 5】

さらに、前記パウチ内に配置され且つ前記パウチの内面と実質的に面一で接触するように配置された補強要素を含み、

好ましくは、前記補強要素はセルロースベースの材料を含む、

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のポケット。

【請求項 6】

前記補強要素は、前記パウチの前記正面主要部分に隣接して配置された正面部分を含み、前記正面部分は、その上縁に切り欠き部を有し、前記切り欠き部は、前記開封テープの前記底縁と少なくとも同じ高さまで下方に延在する、

請求項 5 に記載のポケット。

【請求項 7】

前記切り欠き部は、前記開封テープの前記底縁の少し下に延在する、
請求項 6 に記載のパッケージ。

【請求項 8】

前記補強要素は、第 1 の側面部分と第 2 の側面部分とをさらに含む、折られた要素であり、

前記補強要素の前記第 1 の側面部分及び前記第 2 の側面部分は、それぞれ、前記パウチの前記第 1 の側面部分及び前記第 2 の側面部分に隣接して配置され、

前記補強要素の前記第 1 及び第 2 の側面部分のそれぞれの長さは、前記パウチの長さに等しい、

請求項 6 又は 7 に記載のパケット。

10

【請求項 9】

さらに、前記パウチと前記外側ケーシングとの間に配置された内側フレームを含み、

前記フレームは、前記本体の前記正面パネルに隣接して配置された正面部分を含み、

前記フレームの前記正面部分の上縁は前記開封テープの下に位置決めされ、

好ましくは、前記フレームはセルロースベースのフレームである、

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載のパケット。

【請求項 10】

前記フレームの前記正面部分の前記上縁は、前記開封テープの前記底縁と実質的に同じ高さに配置される、

請求項 9 に記載のパケット。

20

【請求項 11】

前記フレームの前記正面部分は、さらに、その上縁に、前記開封テープの前記底縁の少し下に延在する切り欠き部を含む、

請求項 9 又は 10 に記載のパケット。

【請求項 12】

前記フレームは、第 1 の側面部分と第 2 の側面部分とをさらに含む、折られた要素であり、

前記フレームの前記第 1 の側面部分及び前記第 2 の側面部分は、それぞれ、前記本体の前記第 1 の側面パネル及び前記第 2 の側面パネルに隣接して配置される、

請求項 9 ～ 11 のいずれか 1 項に記載のパケット。

30

【請求項 13】

前記パウチには弱化線が形成され、

前記弱化線は、前記開封テープの前記底縁に平行して隣接して配置される、

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載のパケット。

【請求項 14】

前記蓋が、正面パネルと、背面パネルと、上面パネルと、第 1 の側面パネルと、第 2 の側面パネルとを含み、

前記蓋の前記背面パネルは、前記ヒンジによって前記本体の前記背面パネルに取り付けられ、

前記蓋の前記正面パネルの高さ対前記蓋の前記背面パネルの高さの比は、 $1.8 \sim 2.2$ である、

40

請求項 1 ～ 13 のいずれか 1 項に記載のパケット。

【請求項 15】

前記蓋が前記閉鎖位置にあるとき、前記蓋の前記背面パネルの前記高さ対前記外側ケーシングの高さの比は、 $0.15 \sim 0.19$ である、

請求項 14 に記載のパケット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、喫煙物品用のパケットに関する。

50

【背景技術】

【0002】

喫煙物品、例えばシガレットは、一般に、外側ケーシングと、喫煙物品の周りに巻かれている、封止されたパウチとを含むポケット内に、保管される。外側ケーシングがヒンジ蓋を有することは一般的であり、ヒンジ蓋は、閉鎖位置から開放位置まで可動であり、使用者が、パウチ及びそこに保管されている喫煙物品にアクセスできるようにする。

【0003】

既存の喫煙物品用のポケットに関して知られている問題は、それらの耐生分解性であり、それゆえ、持続可能性の欠如である。特に、保管中に喫煙物品を環境から封止されたままにするための要件ゆえに、空気や水分が入るのを防ぐために、パウチが不浸透性プラスチック又は金属から作製されることが一般的である。例えば、パウチは、バリア性プラスチックを含むプラスチックフィルムや紙積層体、又はプラスチックと金属との積層体から作製されることが多い。そのような材料は、生分解性ではないため、リサイクルが困難である。

【0004】

パウチが環境から封止されることは重要ではあるが、使用者によってパウチが迅速に簡単に開けられる一方で、ひとたび開けられたら、喫煙物品に便利にアクセスできるようにすることも望ましい。この特性の組み合わせは、持続可能な材料を使用して達成することが困難である。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明の目的は、これらの問題の1つ以上に対処することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の第1の態様によれば、喫煙物品用のポケットが提供され、ポケットは、本体と蓋とを含む、外側ケーシングであって、本体は：正面パネル；背面パネル；底面パネル；第1の側面パネル；及び第2の側面パネルを含み、これらは協働して、底面パネルの反対側に開口部を有する主コンパートメントを画成し、蓋と本体の背面パネルとの間にヒンジが形成されて、蓋が開放位置と閉鎖位置との間で可動であるようにする、外側ケーシングと；実質的に直方体のパウチであって：正面主要部分；背面主要部分；上面小部分；底面小部分；第1の側面部分；及び第2の側面部分を含み、パウチは主コンパートメントに受け入れられて、パウチが主コンパートメントから開口部を通して突き出るようにし、パウチは、蓋が閉鎖位置にあるとき、外側ケーシングに完全に入れられ、パウチは、セルローススペースの包み紙を含む、実質的に直方体のパウチと；パウチに取り付けられ且つパウチの長さに対して横断方向にパウチの周りに延在するように配置された開封テープであって、開封テープがヒンジの上に位置決めされるようにする、開封テープとを含み、開封テープは、パウチの底部セクションからパウチの上部セクションを分離するために、使用者によって引っ張られるように構成され、パウチの上部セクションは、パウチの上面小部分、正面主要部分、背面主要部分、第1の側面部分、及び第2の側面部分の少なくとも一部を含み、パウチの底部セクションは、パウチの底面小部分、正面主要部分、背面主要部分、第1の側面部分、及び第2の側面部分の少なくとも一部を含む。

【0007】

好都合なことに、横断方向開封テープと組み合わせたセルローススペースの包み紙の使用は、喫煙物品に簡単にアクセスできるようにする、環境にやさしいポケットをもたらす。特に、開封テープがヒンジの鉛直方向上方に位置付けられるように開封テープ及びヒンジを配置することによって、パウチの上部セクションは、開封テープを使用して、パウチの底部セクションからより簡単に取り除かれることができる。すなわち、蓋が開放位置にあるとき、開封テープは、ヒンジの上に位置して、外側ケーシングが、使用者が開封テープを引っ張ってパウチを開けるのを妨げないようにする。

【0008】

当業者は、パウチの長さは上面小部分と底面小部分との間の垂直距離であることを理解するであろう。これは、パウチの高さと称してもよい。

【0009】

好ましくは、包み紙は、紙、麻、成形セルロースパルプ、バージン繊維パルプ、又は紙を備えるタバコダストを含む（又はそれからなる）。このようにして、パケットの環境への影響を小さくする。

【0010】

好ましくは、パウチは、包み紙と、包み紙に形成された防湿コーティングとを含む（又はそれらからなる）。このようにして、パウチは、持続可能な材料から構成され、これは、パウチに収納された喫煙物品を外部環境から封止し且つ保護するのに効果的である。任意選択的に、パウチは、包み紙と、包み紙に形成された防湿コーティングと、防湿コーティングに対して包み紙の裏側の面に形成された外側コーティングとを含む（又はそれらからなる）。外側コーティングは、パウチの強度、厚さ、密度、及び不透明度のうちの1つ以上を高め得る。

【0011】

好ましくは、防湿コーティングは、ヒートシール可能なコーティング（又はヒートシール接着剤）である。ヒートシール可能なコーティング（例えば熱可塑性フィルム）は、コーティングに圧力を加えて加熱することによって、包み紙にボンディングされる。防湿コーティングは、1つ以上の層又はフィルムを含み得る。或いは、防湿コーティングは水性ラッカーとし得る。

【0012】

あまり好ましくないオプションでは、防湿コーティングは、ホットメルト接着剤、すなわち、熔融状態で塗布されて、固体状態まで冷えるとボンドを形成する接着剤である。

【0013】

好ましくは、防湿コーティングはまた、酸素、空気、香料、及び／又はメントールが入ること（又は移ること）を減少させるか又は防止する。

【0014】

好ましくは、パウチ（すなわち、包み紙及び防湿コーティング）は、 $0 \sim 10 \text{ g/m}^2$ ／日（ 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で）の水蒸気透過速度、及び $< 10 \text{ cc m/m}^2$ ／日（ 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で）の酸素透過速度を有する。一実施形態では、パウチの水蒸気透過速度は $2 \sim 10 \text{ g/m}^2$ ／日（ 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で）とし得る。

【0015】

好ましくは、パウチ（すなわち、包み紙、防湿コーティング、及び任意選択的に、外側コーティング）の厚さは、 $65 \sim 85 \mu\text{m}$ である。

【0016】

好ましくは、パウチ（すなわち、包み紙、防湿コーティング、及び任意選択的に、外側コーティング）の密度は、 $50 \sim 92$ グラム毎平方メートル、より好ましくは $50 \sim 85$ グラム毎平方メートルである。

【0017】

一例では、パウチは、外側コーティングを含み得、パウチの厚さは $75 \mu\text{m}$ とし得、パウチの密度は 90 グラム毎平方メートルとし得、平均水蒸気透過速度は、 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で、 $< 1 \text{ g/m}^2$ ／日とし得る。別の例では、パウチは、外側コーティングを含まなくてもよく、パウチの厚さは $67 \mu\text{m}$ とし得、パウチの密度は 75 グラム毎平方メートルとし得、平均水蒸気透過速度は、 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で、 $< 1 \text{ g/m}^2$ ／日とし得る。別の例では、パウチは、外側コーティングを含まなくてもよく、パウチの厚さは $65 \sim 85 \mu\text{m}$ とし得、パウチの密度は 70 グラム毎平方メートルとし得、平均水蒸気透過速度は、 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で、 $< 3 \text{ g/m}^2$ ／日とし得る。別の例では、パウチは、外側コーティングを含まなくてもよく、パウチの厚さは $82 \mu\text{m}$ とし得、パウチの密度は 75 グラム毎平方メートルとし得、平均水蒸気透過速度は、 23°C 、 $50\% \text{ RH}$ で、 $< 8 \text{ g/}$

m²／日とし得る。

【0018】

好ましくは、防湿コーティングはパウチの内面に形成される。好ましくは、外側コーティングはパウチの外面に形成される。

【0019】

好ましくは、開封テープはパウチ全体の周りに延在する。好ましくは、開封テープは、パウチの正面主要部分、第1の側面部分、背面主要部分、及び第2の側面部分に沿って（それらのそれぞれの全幅に）延在する。

【0020】

好ましくは、開封テープは、パウチの上面小部分よりもヒンジの近くに位置決めされる。例えば、開封テープは、ヒンジの上に位置決めされてもよく、開封テープの底縁とヒンジとの間の距離が、開封テープの幅を下回るようにする。このようにして、開封テープを、パウチの上面小部分に隣接してではなく、ヒンジに隣接して位置決めすることによって、パウチは、パウチの周囲でより信頼性高く引き裂かれ得る。対照的に、開封テープがパウチの上面小部分の方に又はそれに隣接して位置付けられる場合、パウチが上面小部分にわたって誤って引き裂かれる可能性が高まる。

10

【0021】

好ましくは、開封テープの底縁はヒンジと実質的に同じ高さに配置される。すなわち、開封テープの底縁はヒンジと同じ平面に位置決めされる。このようにして、開封テープの底縁がヒンジと一致するため、ヒンジは案内縁を提供し、それに沿って、開封テープが引っ張られ得、それにより、開ける速度と信頼性が増す。

20

【0022】

好ましくは、開封テープはパウチの内面に取り付けられ、且つパウチを通して延在して、使用者によって引っ張られるべき開封タブを露出させる。このようにして、開封テープは、パウチによって外部環境から保護されて、開封テープが使用者によって引っ張られると、パウチが引き裂かれて開けられることが保証される。

【0023】

好ましくは、開封テープは、紙ベース又はセルロースベースの材料を含む（又はそれからなる）。このようにして、パケットの環境への影響がさらに小さくなる。

【0024】

好ましくは、パケットは、さらに、パウチ内に配置され且つパウチの内面と実質的に面一で接触するように配置された補強要素を含む。このようにして、補強要素の存在は、パウチをより高い割合で、すなわち、上部セクションをより大きく、除去できるようにする一方で、パケットの堅さを高いまま維持する。

30

【0025】

好ましくは、補強要素はセルロースベースの補強要素である。例えば、補強要素は、紙、麻、又は成形セルロースパルプを含み得る（又はそれからなる）。このようにして、パケットの環境への影響がさらに小さくなる。

【0026】

好ましくは、補強要素はパウチよりも高い剛性を有する。例えば、補強要素の密度は、130～200グラム毎平方メートルとし得る。

40

【0027】

好ましくは、補強要素は、パウチの正面主要部分に隣接して配置された正面部分を含み、正面部分は、その上縁に切り欠き部を有し、切り欠き部は、開封テープの底縁と少なくとも同じ高さまで下方に延在する。より好ましくは、切り欠き部は、弱化線と少なくとも同じ高さまで下方に延在する。このようにして、喫煙物品へ簡単にアクセスできるように改善される一方で、パケットの堅さを高いまま維持する。

【0028】

好ましくは、切り欠き部は、開封テープの底縁の少し、例えば1mm、2mm又は3mm下に延在する。より好ましくは、切り欠き部は、弱化線の少し下に延在する。例えば、

50

切り欠き部は、正面部分の上縁の少し下に、正面部分の高さの10%～30%で、例えば、10mm、11mm、12mm、13mm、14mm又は15mm延在し得る。

【0029】

好ましくは、切り欠き部は、補強要素の正面部分の上縁に沿って中心に位置決めされる。

【0030】

好ましくは、切り欠き部の幅は、補強要素の正面部分の幅の少なくとも50%である。

【0031】

好ましくは、補強要素は、第1の側面部分と第2の側面部分とをさらに含む、折られた要素であり、補強要素の第1の側面部分及び第2の側面部分は、それぞれ、パウチの第1の側面部分及び第2の側面部分に隣接して配置され、補強要素の第1及び第2の側面部分のそれぞれの長さは、パウチの長さに等しい。より好ましくは、補強要素は、正面部分、第1の側面部分及び第2の側面部分からなる。このようにして、パケットの重量が減らされる一方で、堅さは高いまま維持する。

【0032】

好ましくは、パケットは、さらに、パウチと外側ケーシングとの間に配置された内側フレームを含み、フレームは、本体の正面パネルに隣接して配置された正面部分を含み、フレームの正面部分の上縁は、開封テープの下に位置決めされる。このようにして、フレームは、さらに、開封テープへのアクセスのしやすさを低減させることなく、パケットの堅さを向上させる。

【0033】

好ましくは、フレームの正面部分の上縁は、開封テープの底縁及び／又は弱化線と実質的に同じ高さに配置される。このようにして、フレームの正面部分の上縁を、開封テープの底縁及び／又は弱化線と一致するように配置することによって、さらなる案内縁が提供され、それに沿って、開封テープが引っ張られてパウチが開けられる。ヒンジ（外側ケーシングの背面パネルに隣接する）と、開封テープの底縁と同じ平面に配置されるフレームの上縁（外側ケーシングの正面パネルに隣接する）との好ましい組み合わせは、開封テープがパウチの全周囲で信頼性高く引っ張られることを保証することによって、パウチ内の喫煙物品へのアクセスのしやすさを最適にする。

【0034】

好ましくは、フレームはセルロースベースのフレームである。例えば、フレームは、紙、麻、又は成形セルロースパルプを含み得る（又はそれからなる）。このようにして、パケットの環境への影響がさらに小さくなる。

【0035】

好ましくは、フレームの正面部分は、さらに、その上縁に切り欠き部を含み、それは、開封テープの底縁の少し下に延在する。より好ましくは、切り欠き部は弱化線の少し下に延在する。このようにして、パウチに入れられている喫煙物品は、より簡単にアクセスされ得る一方で、パケットの堅さは高いまま維持する。

【0036】

好ましくは、切り欠き部は、フレームの正面部分の上縁に沿って中心に位置決めされる。

【0037】

好ましくは、フレームは、第1の側面部分と第2の側面部分とをさらに含む、折られた要素であり、フレームの第1の側面部分及び第2の側面部分は、それぞれ、本体の第1の側面パネル及び第2の側面パネルに隣接して配置される。より好ましくは、補強要素は、正面部分、第1の側面部分及び第2の側面部分からなる。このようにして、パケットの重量は減らされる一方で、堅さは高いまま維持する。

【0038】

好ましくは、フレームの第1及び第2の側面部分の上縁は、開封テープの下に配置される。

【0039】

好ましくは、フレームの第1及び第2の側面部分は、蓋の閉鎖位置への動きが妨害されないような、形状にされる。例えば、第1及び第2の側面部分は、主コンパートメントの開口部から離れるように下に傾くか又は湾曲して、蓋が、閉鎖位置へ動かされるときに、第1及び第2の側面部分と接触しないようにする。

【0040】

好ましくは、パウチには弱化線が形成され、弱化線は、開封テープの底縁に隣接して平行して配置される。例えば、弱化線は、開封テープの底縁及び／又はヒンジと同じ高さとし得る。或いは、弱化線は、開封テープの底縁の3mmまで下にあるとし得る。このようにして、開封テープが引っ張られるとき、パウチは、弱化線に沿って開くように偏らせられ、それにより、パウチをさらに簡単に開けられるように改善する。

10

【0041】

好ましくは、弱化線はパウチの外面に形成され、防湿コーティングはパウチの内面に形成される。

【0042】

好ましくは、弱化線は、包み紙を通して部分的に延在する。このようにして、弱化線は、外部環境へのパウチの封止に影響を及ぼさない。好ましくは、弱化線は、包み紙の厚さの80%未満、好ましくは70%未満、より好ましくは60%未満、及び20%超、好ましくは30%超、より好ましくは40%超を通して延在する。

【0043】

好ましくは、弱化線は、例えばレーザスコアリング、機械的押込み（mechanical indentation）、又は機械的スコアリングによって作られた、切り込みの入った線である。例えば、弱化線は、例えばハーフカット線を形成するために、防湿コーティングを通して延在することなく、包み紙を部分的に通って切られ得る（及び／又は存在する場合には、外側コーティングを通して部分的に若しくは完全に延在する）。

20

【0044】

好ましくは、フレームの正面部分は、蓋の内側に形成された相補的な窪みと係合するように構成された舌部を含んで、蓋が、閉鎖位置にしっかりと保持され得るようにする。

【0045】

好ましくは、外側ケーシングに一对のスリットが形成され、それらスリットは、それぞれヒンジの両側に位置付けられ、ヒンジに対して平行に延在する。このようにして、蓋は、開放位置と閉鎖位置との間でより簡単に動かされる。

30

【0046】

好ましくは、各スリットの長さは、本体の背面パネルの幅の5%～10%、例えば4mmである。

【0047】

好ましくは、蓋は：正面パネル；背面パネル；上面パネル；第1の側面パネル；及び第2の側面パネルを含み、蓋の背面パネルは、ヒンジによって本体の背面パネルに取り付けられ、蓋の正面パネルの高さ対蓋の背面パネルの高さの比は、1.8～2.2である。より好ましくは、蓋の正面パネルの高さ対蓋の背面パネルの高さの比は、2である。例えば、蓋の正面パネルの高さは30mmとし得、蓋の背面パネルの高さは15mmとし得る。このようにして、喫煙物品が回収され得る開口部領域は最大にされる一方で、蓋が閉じるのを妨げられないようにすることを保証する。すなわち、蓋の背面パネルの高さが高すぎる場合、蓋は、開いたり又は閉じたりするのを妨げ得るが、蓋の背面パネルの高さが低すぎる場合、蓋は、複数回開いた後、適切に閉じない可能性があり、蓋が本体から分離される可能性が高まる。さらに、蓋の正面パネル高さがより高いことは、喫煙物品にアクセスするためにより大きい領域をもたらすという点では望ましいが、正面パネルの高さがより低いことは、蓋がパッケージを開けるために枢動されるのに必要な角度を小さくするという点では望ましい。上記で規定した特定の比は、これら様々な要因間の最適なバランスを提供する。

40

50

【0048】

好ましくは、蓋の背面パネルの高さ対外側ケーシングの高さの比は、蓋が閉鎖位置にあるとき、0.15～0.19である。より好ましくは、蓋の背面パネルの高さ対外側ケーシングの高さの比は、蓋が閉鎖位置にあるとき、0.18である。例えば、蓋の背面パネルの高さは15mmとし得、外側ケーシングの高さは、蓋が閉鎖位置にあるとき、85mmとし得る。

【0049】

好ましくは、蓋の背面パネルの高さ対蓋の上面パネル幅の比は、0.29～0.71である。より好ましくは、蓋の背面パネルの高さ対蓋の上面パネルの幅の比は、0.67である。例えば、蓋の背面パネルの高さは15mmとし得、蓋の上面パネルの幅は22.5mmである。このようにして、パケットへのアクセスのしやすさがさらに最適にされる。当業者は、上面パネルの幅は、蓋の正面パネルと背面パネルと間の距離であることを理解するであろう。

【0050】

好ましくは、パウチは、水分がパウチに入らないように構成されて封止された材料から作製される。

【0051】

好ましくは、パウチを形成する包み紙は、折られ、且つ：パウチの正面主要部分の長さに沿って延在する第1のフィンシール；パウチの上面小部分の長さに沿って延在する第2のフィンシール；及びパウチの底面小部分の長さに沿って延在する第3のフィンシールによって、封止される。フィンシールの使用は、フィンシールに沿ってパウチを封止している最中、パウチに入れられた喫煙物品が圧縮されないため、好都合である。対照的に、ラップシールの使用は、ラップシールに沿ってパウチを封止している最中、パウチに入れられた喫煙物品が圧縮されることにつながる。

【0052】

好ましくは、開封テープはパウチの内面に取り付けられ、且つ第1のフィンシールを通過して、使用者によって引っ張られるべき開封タブを露出させる。

【0053】

好ましくは、開封テープはパウチに取り付けられて、単一層の開封テープが第1のフィンシールを通過して延在するようにする。このようにして、パウチの嵩が小さくされる。

【0054】

好ましくは、外側ケーシングはセルロースベースの外側ケーシングである。例えば、外側ケーシングは、紙、麻、又は成形セルロースパルプを含み得る（又はそれからなり得る）。このようにして、パケットの環境への影響がさらに小さくなる。

【0055】

好ましくは、外側ケーシング、パウチ、補強要素及び／又はフレームは、プラスチックフィルム又は金属を含まない。特に、外側ケーシング、パウチ、補強要素及び／又はフレームは、プラスチックフィルム又は金属を含む紙積層体からは作製されない。

【0056】

本発明の第2の態様によれば、システムが提供され、システムは：第1の態様によるパケット；及びパウチに入れられた複数の喫煙物品を含む。

【0057】

ここで、図面を参照して本発明の実施形態を例として説明する。

【図面の簡単な説明】

【0058】

【図1A】開放位置にある、パウチと蓋とを含む喫煙物品用のパケットの斜視図である。

【図1B】開放位置にある、パウチと蓋とを含むパケットの概略的な側面図である。

【図1C】開放位置にある、パウチと蓋とを含むパケットの概略的な前面図である。

【図2A】閉鎖位置にある、パウチと蓋とを含むパケットの概略的な前面図である。

【図2B】閉鎖位置にある、パウチと蓋とを含むパケットの概略的な後面図である。

【図 3 A】開放状態にあるパウチと、開放位置にある蓋とを含む、パケットの斜視図である。

【図 3 B】開放状態にあるパウチと、開放位置にある蓋とを含む、パケットの概略的な側面図である。

【図 3 C】開放状態にあるパウチと、開放位置にある蓋とを含む、パケットの概略的な前面図である。

【図 4 A】閉鎖状態にあるパウチの概略的な前面図である。

【図 4 B】閉鎖状態にあるパウチの概略的な側面図である。

【図 4 C】閉鎖状態にあるパウチの概略的な側面図である。

【図 4 D】閉鎖状態にあるパウチの概略的な後面図である。

【図 5 A】包み紙と、そこに形成された防湿コーティングとを含む、パウチの断面図である。

【図 5 B】外側コーティングをさらに含むパウチの断面図である。

【図 6】折られていない形のパケットのフレームの概略図である。

【図 7】折られていない形のパケットの補強要素の概略図である。

【図 8】パウチを形成するために使用され得るブランクの概略的な上面図である。

【発明を実施するための形態】

【0059】

図 1 A ~ 1 C 及び図 2 A ~ 2 B は、本発明による喫煙物品 8 用のパケット 10 の様々な図を示す。パケット 10 は、本体 14 と蓋 16 とを含む外側ケーシング 12 を含む。蓋 16 は、ヒンジ 30 によって本体 14 にヒンジ接続されて、蓋 16 が開放位置と閉鎖位置との間で動かされ得るようにする。図 1 A ~ 1 C は、閉鎖位置にある蓋 16 を示す一方で、図 2 A ~ 2 B は、開放位置にある蓋 16 を示す。開放位置では、外側ケーシング 12 に収納された中身は、使用者によってアクセスされ得る。閉鎖位置では、外側ケーシング 12 の中身にはアクセス不能であり、本体 14 と蓋 16 は協働して直方体のボックスを画成する。当業者は、パケット 10、又は外側ケーシング 12 が、ヒンジ蓋付きボックスと呼ばれ得ることを理解するであろう。

【0060】

本体 14 は、正面パネル 18、背面パネル 20、底面パネル 22、第 1 の側面パネル 24（すなわち左側面パネル）、及び第 2 の側面パネル 26（すなわち右側面パネル）を含む複数のパネル 18 ~ 26 を含む。これらのパネル 18 ~ 26 は協働して、底面パネル 22 の反対側に開口部 28 が設けられた主コンパートメントを画成する。背面パネル 20 の高さは正面パネル 18 の高さよりも高く、第 1 の側面パネル 24 及び第 2 の側面パネル 26 の高さが背面パネル 20 の方へ向かって高くなるようにする。

【0061】

蓋 16 は、正面パネル 72、背面パネル 74、上面パネル 76、第 1 の側面パネル 78（すなわち左側面パネル）、及び第 2 の側面パネル 80（すなわち右側面パネル）を含む複数のパネル 72 ~ 80 を含む。これらのパネル 72 ~ 80 は協働して、上面パネル 76 の反対側に開口部が設けられた副コンパートメントを画成する。正面パネル 72 の高さは背面パネル 74 の高さよりも高く、第 1 の側面パネル 78 及び第 2 の側面パネル 80 の高さが背面パネル 74 の方へ向かって高くなるようにする。

【0062】

蓋 16 は、蓋 16 の背面パネル 74 と本体 14 の背面パネル 20 との間に位置決めされるヒンジ 30 によって、本体 14 に接続される。当業者は、ヒンジ 30 はパケット 10 の分離可能な構成部品ではなく、それどころか、蓋 16 の背面パネル 74 と本体 14 の背面パネル 20 との間の接続部分であり、その周りで蓋 16 が枢動され得ることを理解するであろう。すなわち、ヒンジ 30 は、本体 14 及び蓋 16 と同じ材料から形成される外側ケーシング 12 の折り線又は折罫であると説明され得る。

【0063】

外側ケーシング 12 は、セルロースベースの材料製とし得る。例えば、外側ケーシング

10

20

30

40

50

12は、紙、麻又は成形セルロースパルプを含み得る（又はそれからなり得る）。

【0064】

外側ケーシング12は、蓋16の正面パネル72の高さA対蓋16の背面パネル74の高さBの比が1.8～2.2になるように、構成される。例えば、比 A/B は2とし得る。好都合なことに、このサイズ比は、パウチ32へのアクセスのしやすさを最適にし、外側ケーシング12の中身がアクセスされ得る開口部領域をより大きくする一方で、蓋が閉鎖位置へ動くのを妨害されないようにすることを保証する。例えば、蓋16の背面パネル74の高さBが高すぎる場合、蓋16は、開いたり又は閉じたりするのを妨げられるが、蓋16の背面パネル74の高さBが低すぎる場合、複数回開けた後、蓋が適切に閉じなくなる可能性があり、蓋が本体から分離される可能性が高いことが分かっている。さらに、蓋16の正面パネル72の高さAが高いと、喫煙物品にアクセスするためにより大きな領域を提供するが、蓋16の正面パネル72の高さAが低いと、パケット10を開けるために蓋16が枢動されるために必要な角度が小さくなる。

10

【0065】

外側ケーシング12は、さらに、蓋16が閉鎖位置にあるときの蓋16の背面パネル74の高さB對外側ケーシング12の高さCの比が0.15～0.19となるように、構成される。例えば、比 B/C は0.18とし得る。さらに、外側ケーシング12は、蓋16の背面パネル74の高さB対蓋16の上面パネル76の幅Dの比が0.29～0.71となるように、構成される。例えば、比 B/D は0.67とし得る。これらの比は、さらに、パケット10へのアクセスのしやすさを最適にする。

20

【0066】

パウチ32が外側ケーシング12に収納される。具体的には、パウチ32は、本体14の主コンパートメントに受け入れられて、パウチ32の一部分が開口部28を通して突き出て、蓋16が閉鎖位置に動かされると、外側ケーシング12に完全に入れられるようにする。パウチ32は、複数の喫煙物品8を保管して揃えるようなサイズにされる。すなわち、パウチ32の高さは喫煙物品8の高さと実質的に等しく、喫煙物品8がパウチ32内にしっかりと保持され得るようにする。一例では、喫煙物品8はシガレットとし得る。他の例では、喫煙物品8は、非燃焼加熱式スティックとし得る。

【0067】

パウチ32は実質的に直方体であり、正面主要部分110、背面主要部分112、上面小部分114、底面小部分116、第1の側面部分118（すなわち左側面部分）、及び第2の側面部分120（すなわち右側面部分）を含む。パウチ32を図4A～4Cにさらに詳細に示す。図4Aは、パウチ32の正面主要部分110の概略図を示し、図4Bは、パウチ32の第1の側面部分118の概略図を示し、図4Cは、第2の側面部分120の概略図を示し、及び図4Dは、パウチ32の背面主要部分112の概略図を示す。

30

【0068】

パウチ32は、防湿コーティング124が形成された包み紙122を含む。任意選択的に、包み紙122はまた、防湿コーティング124に対して包み紙122の裏側に形成された外側コーティング125を有し得る。包み紙122は、外面126と内面128とを有する実質的に直方体のパウチ32を形成するように、折られて封止される。特に、パウチ32は、パウチ32の正面主要部分110の長さに沿って延在する第1のフィンシール104と、パウチ32の上面小部分114の長さに沿って延在する第2のフィンシール106と、パウチ32の底面小部分の長さに沿って延在する第3のフィンシール108とによって、封止される。当業者は、フィンシールは、包み紙122の内面128の縁部分によって形成されたシールであって、包み紙122の内面128の別の縁部分に封止されているシールであることを理解するであろう。対照的に、例えば、ラップシールが、包み紙の内面の縁部分を包み紙の外面の縁部分に封止することによって、形成される。好都合なことに、ラップシールとは異なり、フィンシールは、包み紙122の中に入れられた喫煙物品8が、封止中に圧縮されないようにする。

40

【0069】

50

開封テープ 3 4 がパウチ 3 2 に取り付けられて、パウチ 3 2 の周りに延在する。開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の内面 1 2 8 に取り付けられるが、説明のために、図 4 A ~ 4 C に示されている。当業者は、代替的な実施形態では、開封テープ 3 4 はパウチ 3 2 の外面 1 2 6 に取り付けられてもよいことを理解するであろう。

【0070】

開封テープ 3 4（引きちぎり用リボンとしても公知）は、パウチ 3 2 に接着して結合される一片の材料である。開封テープは、パウチ 3 2 を開けるために使用者によって引っ張られてもよい。特に、開封テープ 3 4 はパウチ 3 2 よりも頑丈であるため、引っ張られるとき、パウチ 3 2 は開封テープ 3 4 の長さに沿って引き裂かれて開けられる。開封テープ 3 4 は、（例えば配向性）ポリマー、ヤーン、及びフィラメントで作製され得るが、好ましくは紙などのセルロースベースの材料で作製される。

10

【0071】

説明する通り、開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の実質的に全周囲に横断方向に延在する。すなわち、開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の正面主要部分 1 1 0、第 1 の側面部分 1 1 8、背面主要部分 1 1 2、及び第 2 の側面部分 1 2 0 の周りに、パウチ 3 2 の長さに垂直である方向に、延在する。しかしながら、代替的な実施形態では、当業者は、開封テープ 3 4 が、パウチ 3 2 の周囲の一部分、例えばパウチ 3 2 の周囲の少なくとも 90 % にのみ延在してもよいことを理解するであろう。

【0072】

開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の正面主要部分 1 1 2 の第 1 のフィンシール 1 0 4 を通って延在するように配置されて、開封テープ 3 4 の開封タブ 3 5 を露出させ、これが使用者によって引っ張られるようにする。好都合なことに、これにより、パウチ 3 2 の製造可能性の容易さを向上させる。開封テープ 3 4 はパウチ 3 2 に取り付けられて、単一層の開封テープ 3 4 のみが第 1 のフィンシール 1 0 4 を通って突き出るようにし、これにより、パウチ 3 2 の嵩を小さくしてもよい。

20

【0073】

図 1 A 及び図 1 B に最もよく示すように、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 は、外側ケーシング 1 2 のヒンジ 3 0 と同じ高さに位置合わせされる。換言すると、開封テープ 3 4 及びヒンジ 3 0 は、互いに対して、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 がヒンジ 3 0 と実質的に同じ鉛直高さ（すなわちパケット 1 0 の長さに沿って実質的に同じ位置）に位置決めされるように、配置される。それゆえ、ヒンジ 3 0、又は本体 1 4 の背面パネル 2 0 の上縁は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 と同じ平面にある。このようにして、蓋 1 4 が開放位置にあるとき、開封テープ 3 4 がパウチ 3 2 と外側ケーシング 1 2 の本体 1 4 との間に挟まれないようにすることを保証する。したがって、開封テープ 3 4 を簡単に取り除けること、それゆえパウチ 3 2 を開けることが、改善される。さらに、上述のヒンジ 3 0 とは対照的に、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 をヒンジ 3 0 と同じ高さに位置付けることによって、ヒンジ 3 0（すなわち本体 1 4 の背面パネル 2 0 の上縁）は案内縁を提供し、それに沿って開封テープ 3 4 が引っ張られ得る。これにより、さらに、使用者がパウチ 3 2 を簡単に開けられるように改善する。

30

【0074】

当然ながら、当業者は、他の実施形態では、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 はヒンジ 3 0 と同じ高さに位置決めされなくてもよいことを理解するであろう。例えば、開封テープ 3 4 は、ヒンジ 3 0 に隣接してその上に位置決めされてもよく、例えば開封テープの底縁は、ヒンジの 0.5 mm、1 mm、1.5 mm、2 mm 又は 3 mm 上に位置決めされても、及び／又は開封テープ 3 4 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 とヒンジ 3 0 との間の距離が開封テープ 3 4 の幅を下回るように、ヒンジ 3 0 の上に位置決めされてもよい。この配置構成は、同様に、開封テープ 3 4 が使用者にアクセス可能であるようにすることを保証する。

40

【0075】

さらに、開封テープ 3 4 をパウチ 3 2 の上面小部分 1 1 4 よりもヒンジ 3 0 の近くに配置することが好ましい。好都合なことに、この形態は、パウチ 3 2 が上面小部分 1 1 4 に

50

わたって破られる機会を減少させ、その代わりに、その周囲でパウチ 3 2 をきれいに分割するのを促す。

【0076】

パウチ 3 2 の外面 1 2 6 に弱化線 6 4 が形成される。弱化線 6 4 は、開封テープ 3 4 が使用者によって引っ張られるとき、弱化線 6 4 に沿ってパウチ 3 2 を簡単に破ることができるようにする。一例では、弱化線 6 4 は、刻み目、切れ目、又は切り込みの線を含み得る。弱化線は、包み紙 1 2 2 のレーザスコアリング又は機械的切断若しくは押込みによって形成され得る。弱化線 6 4 は、包み紙 1 2 2 を部分的に通って延在し（及び／又は存在する場合には、外側コーティング 1 2 5 を部分的に若しくは完全に通って延在する）、防湿コーティング 1 2 4 を通っては延在しない。この形の弱化線は、ハーフカット線と呼ばれ得る。好都合なことに、弱化線 6 4 がパウチ 3 2 の初めから終わりまでは延在しないため、パウチ 3 2 は外部環境に対して封止されたままである。別の例では、弱化線 6 4 は、化学的、放射的、又は機械的に弱化した部分を含み得る。

10

【0077】

弱化線 6 4 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 と隣接して位置合わせされて、開封テープ 3 4 に引張力を加えることによって、パウチ 3 2 が弱化線 6 4 に沿って分割されるようにする。具体的には、弱化線 6 4 はパウチ 3 2 の周りに、例えばパウチ 3 2 の正面主要部分 1 1 0、第 1 の側面部分 1 1 8、背面主要部分 1 1 2、及び第 2 の側面部分 1 2 0 に沿って、パウチ 3 2 の長さの垂直である方向に延在する。理想的には、弱化線 6 4 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 4 及び／又はヒンジ 3 0 と同じ高さに位置している。しかしながら、図 4 A ～ 4 C に示すように、開封テープ 3 4 を開封テープ 3 4 のわずかに下方にすることが可能である。特に、開封テープ 3 4 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 の 3 mm まで下方とし得るが、弱化線 6 4 に沿ってパウチ 3 2 を信頼性高く開けられるようにする。

20

【0078】

図 5 A は、パウチ 3 2 を形成する、包み紙 1 2 2 及び防湿コーティング 1 2 4 の断面図を示す。図示の通り、開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の内面 1 2 8 に取り付けられ、弱化線 6 4 はパウチの外面 1 2 6 に形成される。防湿コーティング 1 2 4 はパウチ 3 2 の内面 1 2 8 に形成される（又はそれを形成する）。

【0079】

図 5 B は、代替的な実施形態におけるパウチ 3 2 の断面図を示し、ここでは、パウチ 3 2 は、さらに、防湿コーティング 1 2 4 に対して包み紙 1 2 2 の裏側の面に形成された外側コーティング 1 2 5 を含む。すなわち、外側コーティング 1 2 5 はパウチ 3 2 の外面 1 2 6 に形成される（又はそれを形成する）。外側コーティング 1 2 5 は、パウチ 3 2 の引張強度を高める及び／又はパウチ 3 2 の外観を変える、例えばその不透明度を増すように構成され得る。この例では、弱化線 6 4 は、外側コーティング 1 2 5 を完全に通って、及び包み紙 1 2 2 を部分的に通って延在する。代替的な例では、弱化線は、外側コーティング 1 2 5 を部分的に通って延在し得る。

30

【0080】

パウチ 3 2（すなわち包み紙 1 2 2、及び防湿コーティング 1 2 4、及び任意選択的に外側コーティング 1 2 5）の厚さは、65 ～ 85 ミクロンとし得る。パウチ 3 2（すなわち包み紙 1 2 2、及び防湿コーティング 1 2 4、及び任意選択的に外側コーティング 1 2 5）の密度は、50 ～ 92 グラム毎平方メートルとし得る。例えば、パウチ 3 2 の密度は、50 ～ 80 グラム毎平方メートルとし得る。

40

【0081】

包み紙 1 2 2 は、セルロースベースの材料、例えば紙、麻、成形セルロースパルプ、バージン繊維パルプ、又は紙を備えるタバコダストで作製される。防湿コーティング 1 2 4 は、包み紙 1 2 2 を通って水分が入らないようにし、それにより、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 を保護する。好都合なことに、防湿コーティング 1 2 4 を備えるセルロースベースの包み紙 1 2 2 を使用することによって、プラスチックや金属を含む包み紙とは対照的に、シール品質を低下させることなく、パッケージ 1 0 の生分解性及び持続可能性が

50

改善される。

【0082】

一例では、防湿コーティング124は、ヒートシール可能なコーティング又はフィルムとし得る。別の例では、防湿コーティング124は水性ラッカーとし得る。別の例では、防湿コーティング124はホットメルト接着剤とし得る。

【0083】

防湿コーティング124はまた、パウチ32を通した酸素、空気、香料、及び／又はメントールの移動を減少させ得るか又は防ぎ得る。

【0084】

フィンシール、及び防湿コーティング124の特性の結果として、パウチ32（すなわち包み紙122、及び防湿コーティング124、及び任意選択的に外側コーティング125）は、0～10g/m²/日（23℃、50％RHで）の水蒸気透過速度、及び<10ccm/m²/日（23℃、50％RHで）の酸素透過速度を有し得る。例えば、水蒸気透過速度は、2～10g/m²/日（23℃、50％RHで）とし得る。

【0085】

包み紙122、防湿コーティング124、及び任意選択的に外側コーティング125（すなわち、さらに下記で説明するようなブランク130）は、フレキソ又はグラビア印刷を使用して製造されてもよい。

【0086】

パウチ32の例示的な材料仕様書は、以下の表に提供される。

【0087】

【表1】

供給業者	材料表示	基本重量 (g/m ²)	厚さ (μm)	23°C, 50% RH での平均水蒸気透過速度 (g/m ² .日)
Sappi	Avantguard S Gloss	90	75	< 1
Sappi	Avantguard S Nature	75	67	< 1
Koehler	NexPlus Tobacco Flavor	75	82	< 8

【0088】

図1A～1Cに示すように、パケット10は、さらに、パウチ32と外側ケーシング12の本体14との間に位置付けられるフレーム92（内側フレームと呼ばれてもよい）を含む。フレーム92は、正面部分94と、第1の側面部分96（すなわち左側面部分）と、第2の側面部分98（すなわち右側面部分）とを含む、折られた要素である。図6は、折られていない形のフレーム92を示す。第1の側面部分96及び第2の側面部分98は、それぞれの折り線によって正面部分94の対向する側に接続されている。パケット10が構成されるとき、第1の側面部分96及び第2の側面部分98は、それぞれの折り線の周りでおよそ90度で折られ、フレーム92は、パウチ32と外側ケーシング12との間に配置されて、フレーム92の正面部分94、第1の側面部分96、及び第2の側面部分98が、それぞれ、本体14の正面パネル18及びパウチ32の正面主要部分110のそ

れぞれ、本体 1 4 の第 1 の側面パネル 2 4 及びパウチ 3 2 の第 1 の側面部分 1 1 8 のそれぞれ、並びに本体 1 2 の第 2 の側面パネル 2 6 及びパウチ 3 2 の第 2 の側面部分 1 2 0 のそれぞれに隣接して（すなわちそれと整合して）配置されるようにする。

【0089】

好都合なことに、フレーム 9 2 の存在は、ポケット 1 0 の堅さを向上させ、それにより、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 の保護及び支持を高める。さらに、フレーム 9 2 は、例えば下記で説明する「クリック係止」機能を使用することによって、蓋 1 6 を確実に信頼性高く閉じることを助ける。

【0090】

図 1 A 及び図 1 B に最もよく示すように、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 は、フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 と同じ高さに位置合わせされる。換言すると、開封テープ 3 4 及びフレーム 9 2 は、互いに対して、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 がフレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 と実質的に同じ鉛直高さに（すなわちポケット 1 0 の長さに沿って実質的に同じ位置に）位置決めされるように、配置される。それゆえ、フレーム 9 2 の上縁 1 0 0 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 と同じ平面にある。このようにして、蓋 1 6 が開放位置にあるとき、開封テープ 3 4 がパウチ 3 2 とフレーム 9 2 との間に挟まれないようにすることを保証する。したがって、開封テープ 3 4 を簡単に取り除けること、それゆえパウチ 3 2 を開けることが、改善される。さらに、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 をフレーム 9 2 の上縁 1 0 0 と実質的に同じ高さに位置付けることによって、上述のフレーム 9 2 の上縁 1 0 0 とは対照的に、フレーム 9 2 の上縁 1 0 0 は、さらなる案内縁を提供し、それに沿って、開封テープ 3 4 が引っ張られ得、それにより、使用者がパウチ 3 2 を簡単に開けられるようにさらに改善する。

【0091】

当業者は、ヒンジ 3 0、開封テープ 3 4 の底縁 3 6、及びフレーム 9 2 の上縁 1 0 0 が全て同じ平面に位置決めされているため、開封テープ 3 4 が、支障なく、パウチ 3 2 の全周囲で信頼性高く引っ張られ得ることを理解するであろう。

【0092】

当然ながら、当業者はまた、代替的な実施形態では、フレーム 9 2 の上縁 1 0 0 は、ヒンジ 3 0 及び／又は開封テープ 3 4 の底縁 3 6 と正確に同じ高さでなくてもよいことを理解されるであろう。特に、この形態はまた、開封テープ 3 4 がパウチ 3 2 とフレーム 9 2 との間に挟まれないようにすることを保証するため、フレーム 9 2 の上縁 1 0 0 が開封テープ 3 4 の下にある、例えば開封テープ 3 4 の底縁 3 6 の 0.5 mm、1 mm、1.5 mm 又は 2 mm 下にあるように、フレーム 9 2 を配置することは好都合なままである。

【0093】

フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 に、窪み部分とも呼ばれ得る切り欠き部 1 0 2 が形成される。切り欠き部 1 0 2 は、フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 から材料の一部を除去することによって、形成される。好ましくは、切り欠き部 1 0 2 は、5 mm までの距離、延在する。例えば、切り欠き部 1 0 2 は、フレーム 9 2 の上縁 1 0 0 の 1 mm、1.5 mm、2 mm、2.5 mm、又は 3 mm 下に延在し得る。

【0094】

切り欠き部 1 0 2 は、フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 に沿って中心に位置決めされ、好ましくはフレーム 9 2 の正面部分 9 4 の幅の少なくとも 50 % の幅を有する。

【0095】

好都合なことに、切り欠き部 1 0 2 の存在は、フレーム 9 2 によってもたらされた補強効果に悪影響を及ぼすことなく、パウチ 3 2 が開けられるときの、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 へのアクセスのしやすさを改善する。

【0096】

フレーム 9 2 の正面部分 9 4 は、さらに、舌部 6 6 を含み、これは、タブと呼ばれてもよく、フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の表面から離れて突き出るように配置される。蓋 1 6 の正面パネル 7 2 にある蓋 1 6 の副コンパートメントに相補的な窪み 6 8 が設けられる。

蓋 1 6 が閉鎖位置にあるとき、舌部 6 6 は窪み 6 8 と係合するように構成されて、蓋 1 6 が閉鎖位置に保持されるようにする。蓋 1 6 が開放位置へ動かされるように窪み 6 8 から舌部 6 6 を係合解除するためには、閾値の力が使用者によって加えられる必要がある。これは、「クリック係止」機構と呼ばれ得る。

【0097】

フレーム 9 2 の第 1 の側面部分 9 6 及び第 2 の側面部分 9 8 は、閉鎖位置への蓋 1 6 の動きが妨害されないような、形状にされる。特に、第 1 の側面部分 9 6 及び第 2 の側面部分 9 8 は、フレーム 9 2 の正面部分 9 4 の上縁 1 0 0 から下に傾く（例えば湾曲して下がる）上方縁を有する。これは、蓋 1 6 が、閉鎖位置へ動かされるときに、フレーム 9 2 の第 1 の側面部分 9 6 及び第 2 の側面部分 9 8 にぶつからないことを意味する。当然ながら、当業者は、図 8 に示すフレーム 9 2 の特定の形状が不可欠ではなく、変更されてもよいことを理解するであろう。例えば、フレーム 9 2 の第 1 の側面部分 9 6 及び第 2 の側面部分 9 8 は、平らな上方縁を有してもよい。

10

【0098】

フレーム 9 2 は、セルロースベースの材料、例えば紙、麻、又は成形セルロースパルプから作製され得る。好都合なことに、フレーム 9 2 は、パウチ 3 2 よりも剛性が高いとし得る。例えば、フレーム 9 2 の密度は、130～200 グラム毎平方メートルとし得る。

【0099】

図 3 A～3 C は、開放状態にあるパウチ 3 2 を示し、ここでは、開封テープ 3 4 は、パウチ 3 2 の底部セクション 4 0 からパウチ 3 2 の上部セクション 3 8 を除去するために引っ張られており、それにより、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 を露出させている。説明を簡単にするために、図 1 A～1 C で以前符号を付した特徴の参照符号は、図 3 A～3 C からは省略されている。

20

【0100】

パウチ 3 2 とパウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 との間に補強要素 8 2 が位置付けられる。パウチ 3 2 が開けられると、補強要素 8 2 は露出される。

【0101】

補強要素 8 2 は、正面部分 8 4 と、第 1 の側面部分 8 8（すなわち左側面部分）と、第 2 の側面部分 9 0（すなわち右側面部分）とを含む、折られた要素である。図 7 は、折られていない形の補強要素 8 2 である。第 1 の側面部分 8 8 及び第 2 の側面部分 9 0 は、それぞれの折り線によって、正面部分 8 4 の対向する側に接続されている。パケット 1 0 が構成されるとき、第 1 の側面部分 8 8 及び第 2 の側面部分 9 0 は、それぞれの折り線の周りでおよそ 90 度で折られ、補強要素 8 2 は、パウチ 3 2 と喫煙物品 8 との間に配置されて、補強要素 8 2 の正面部分 8 4、第 1 の側面部分 8 8、及び第 2 の側面部分 9 0 が、それぞれ、パウチ 3 2 の正面主要部分 1 1 0、パウチ 3 2 の第 1 の側面部分 1 1 8、及びパウチ 3 2 の第 2 の側面部分 1 2 0 に隣接して（すなわちそれと整合して）配置されるようにする。

30

【0102】

好都合なことに、補強要素 8 2 の存在は、パケット 1 0 の堅さをさらに向上させ、それにより、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 の保護及び支持をさらに高める一方で、開封テープ 3 4 が使用者に確実にアクセス可能なままであるようにする。

40

【0103】

補強要素 8 2 の高さ、特に、補強要素 8 2 の第 1 の側面部分 8 8 及び第 2 の側面部分 9 0 の高さは、パウチ 3 2 の高さと同じ。この配置構成は、パウチ 3 2 に入れられた喫煙物品 8 に最適な保護及び支持をもたらす。

【0104】

補強要素 8 2 は、切り欠き部 8 6 が形成されている上縁 8 5 を有する。すなわち、補強要素 8 2 の正面部分 8 4 の上縁 8 5 に沿って材料の一部が除去されて切り欠き部 8 6 を形成し、これは、窪み部分とも呼ばれ得る。

【0105】

50

切り欠き部 8 6 は、開封テープ 3 4 の底縁 3 6 及び／又は弱化線 6 4 の下に延在する。このようにして、開封テープ 3 4 がパウチ 3 2 を開けるために引っ張られると、喫煙物品 8 は、切り欠き部 8 6 を通してさらに露出され、使用者が喫煙物品 8 を簡単に掴んで取り出すことができるようにする。好ましくは、切り欠き部 8 6 は、補強要素 8 2 の上縁 8 5 の下に、補強要素 8 2 の正面部分 8 4 の高さの 1 0 % ～ 3 0 % の距離で延在する。例えば、切り欠き部は、補強要素 8 2 の上縁 8 5 の 1 0 mm、1 1 mm、1 2 mm、1 3 mm、1 4 mm 又は 1 5 mm 下に延在する。

【 0 1 0 6 】

切り欠き部 8 6 は、補強要素 8 2 の正面部分 8 4 の上縁 8 5 に沿って中心に位置決めされ、それにより、喫煙物品 8 への最適なアクセスをもたらす。切り欠き部 8 6 の幅は、補強要素 8 2 の正面部分 8 4 の幅の少なくとも 5 0 % とし得る。

10

【 0 1 0 7 】

補強要素 8 2 は、セルロースベースの材料、例えば紙、麻、又は成形セルロースパルプから作製され得る。好都合なことに、補強要素 8 2 は、パウチ 3 2 よりも剛性が高いとし得る。例えば、補強要素 8 2 の密度は、1 3 0 ～ 2 0 0 グラム毎平方メートルとし得る。

【 0 1 0 8 】

パウチ 3 2 は、包み紙 1 2 2 及び防湿コーティング 1 2 4（及び、いくつかの実施形態では、外側コーティング 1 2 5）を含む、ブランク 1 3 0 から形成され得る。ブランク 1 3 0 は図 8 に示されている。

【 0 1 0 9 】

20

ブランク 1 3 0 は、折り線によって分離された複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 を含む。複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 は、第 1 の正面ブランクパネル 1 3 2 及び第 2 の正面ブランクパネル 1 3 4 を含み、これらは協働してパウチ 3 2 の正面主要部分 1 1 0 を形成する。複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 は、さらに、背面ブランクパネル 1 3 6 を含み、パウチの背面主要部分 1 1 2 を形成する。複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 は、さらに、第 1 の上面ブランクパネル 1 3 8、第 2 の上面ブランクパネル 1 4 0、及び第 3 の上面ブランクパネル 1 4 2 を含み、これらは協働してパウチ 3 2 の上面小部分 1 1 4 を形成する。複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 は、さらに、第 1 の底面ブランクパネル 1 4 4、第 2 の底面ブランクパネル 1 4 6、及び第 3 の底面ブランクパネル 1 4 8 を含み、これらは協働してパウチ 3 2 の底面小部分 1 1 6 を形成する。複数のパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 は、さらに、第 1 の側面ブランクパネル 1 5 0 及び第 2 の側面ブランクパネル 1 5 2 を含み、それぞれパウチ 3 2 の第 1 の側面部分 1 1 8 及び第 2 の側面部分を形成する。

30

【 0 1 1 0 】

ブランク 1 3 0 は、第 1 の長手方向フィンタブ（f i n t a b）1 5 4 及び第 2 の長手方向フィンタブ 1 5 6、上部横断方向フィンタブ 1 5 8、及び底部横断方向フィンタブ 1 6 0 を含み、これらは、ブランク 1 3 0 の境界線（すなわち縁部分）を形成する。

【 0 1 1 1 】

ブランク 1 3 0（それゆえ、またパネル 1 3 6 ～ 1 5 2 及びタブ 1 5 4 ～ 1 6 0）は、2 つの面を有すると説明され得る：外面、及び対向する内面。形成されると、パウチ 3 2 の外面 1 2 6 はブランク 1 3 0 の外面に対応し、パウチ 3 2 の内面 1 2 8 はブランク 1 3 0 の内面に対応する。防湿コーティング 1 2 4 はブランク 1 3 0 の内面に形成され、外側コーティング 1 2 5 は、任意選択的に、ブランク 1 3 0 の外面に形成される。

40

【 0 1 1 2 】

開封テープ 3 4 は、ブランク 1 3 0 の内面に取り付けられ、第 2 の長手方向フィンタブ 1 5 6、第 1 の正面ブランクパネル 1 3 2、第 2 の側面ブランクパネル 1 5 2、背面ブランクパネル 1 3 6、第 1 の側面ブランクパネル 1 5 0、正面ブランクパネル 1 3 4、及び第 1 の長手方向フィンタブ 1 5 4 を横切って直線で延在する。任意選択的に、開封テープ 3 4 は、第 1 の長手方向フィンタブ 1 5 4 及び第 2 の長手方向フィンタブ 1 5 6 の一方のみにわたって延在してもよい。このようにして、パウチ 3 2 が構成されると、単一層の開封テープ 3 4 のみが、第 1 のフィンシル 1 0 4 を通って延在し、それにより、パウチ 3

50

2の嵩を小さくする。

【0113】

弱化線64はブランク130の外面に形成され、前述の通り、開封テープ36の底縁36に平行しそれに隣接して延在する。

【0114】

ブランク130からパウチ32を形成するために、パネル136～152及びタブ154～160のそれぞれは、それらとブランク130の他のパネル136～152及びタブ154～160とをつなぐそれぞれの折り線の周りで折られる。パネル136～152及びタブ154～160のそれぞれは、およそ90度でそれぞれの折り線の周りで折られる。第1の長手方向フィンタブ154は、内面に沿って第2の長手方向フィンタブ156に封止され、それにより、第1のフィンシール104を形成する。上部横断方向フィンタブ158は、内面に沿ってそれ自体に封止され、それにより、第2のフィンシール106を形成する。底部横断方向フィンタブ160は、内面に沿ってそれ自体に封止され、それにより、第3のフィンシール108を形成する。各フィンシール104～108は、好適な接着剤を使用して封止されてもよい。このようにして、パウチ32は、外部環境から効果的に封止される。喫煙物品8は、折って封止するプロセスの前又はその最中に、パウチ32内に提供され得る。

10

【0115】

図4A～4Cに示すように、組み立てられたパウチ32では、第1のフィンシール104、第2のフィンシール106及び第3のフィンシール108は、それぞれ、パウチ32の正面主要部分110、上面小部分114、及び底面小部分116に接するように折られる（例えば実質的に面一で接触するように配置される）。第1のフィンシール104は、第2のフィンシール106と第3のフィンシール108を封止する前に、正面主要部分110に接するように折られてもよい。

20

【0116】

当業者は、ひとたびパウチ32がブランク130から形成されたら、開封テープ34の開封タブ35が第1のフィンシール104を通して突き出るように配置されて、開封タブが使用者によって引っ張られ得るようにすることを理解するであろう。

30

40

50

【図面】

【図 1 A】

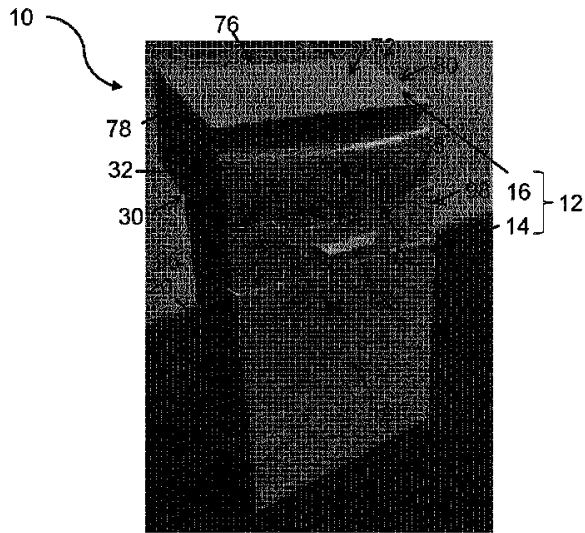


FIG. 1A

【図 1 B】

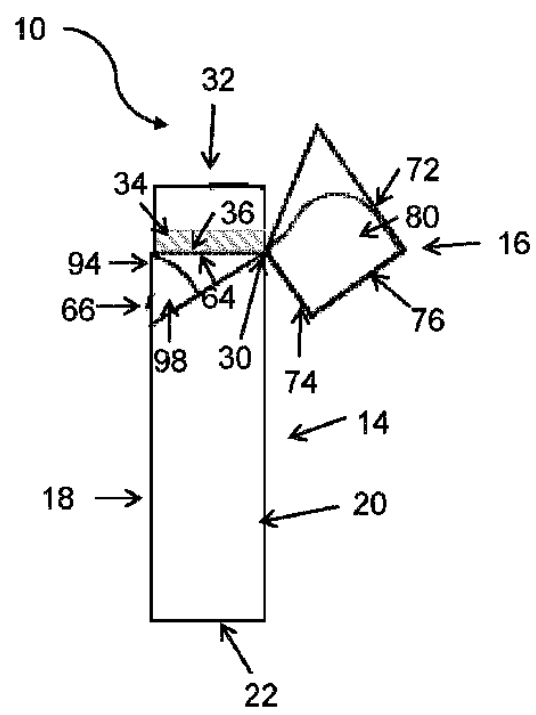


FIG. 1B

【図 1 C】

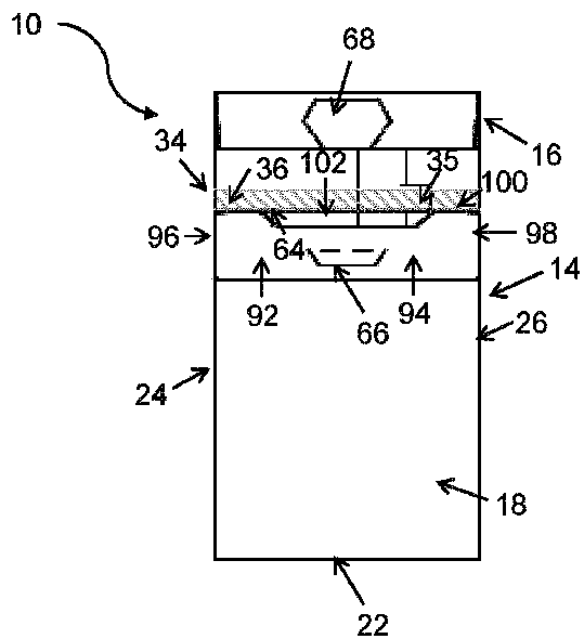


FIG. 1C

【図 2 A】

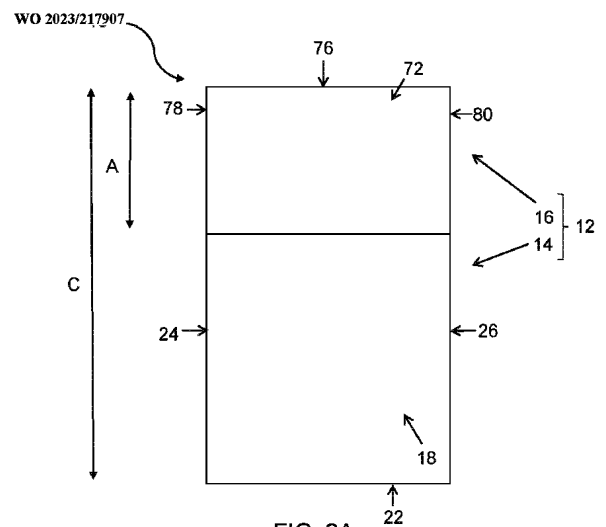


FIG. 2A

【図 2 B】

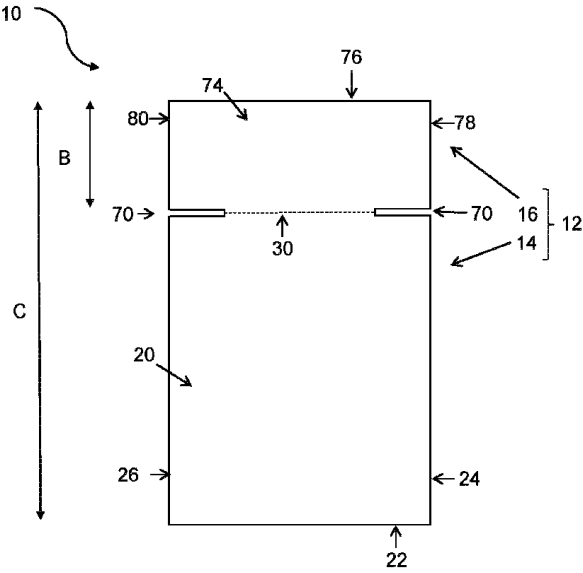


FIG. 2B

【図 3 A】

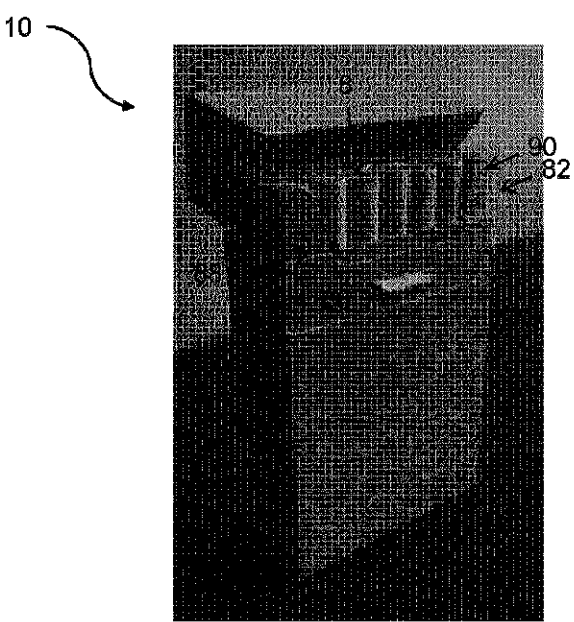


FIG. 3A

【図 3 B】

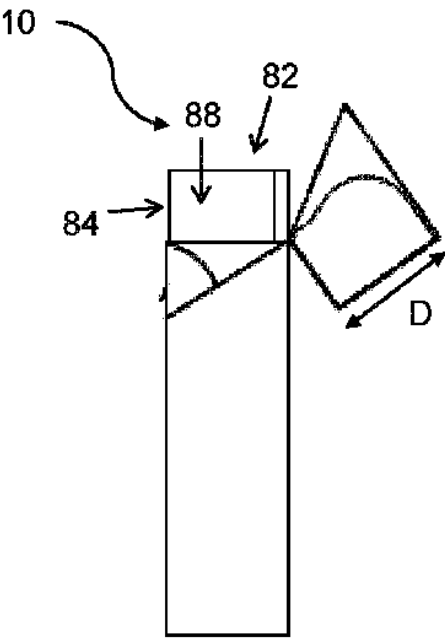


FIG. 3B

【図 3 C】

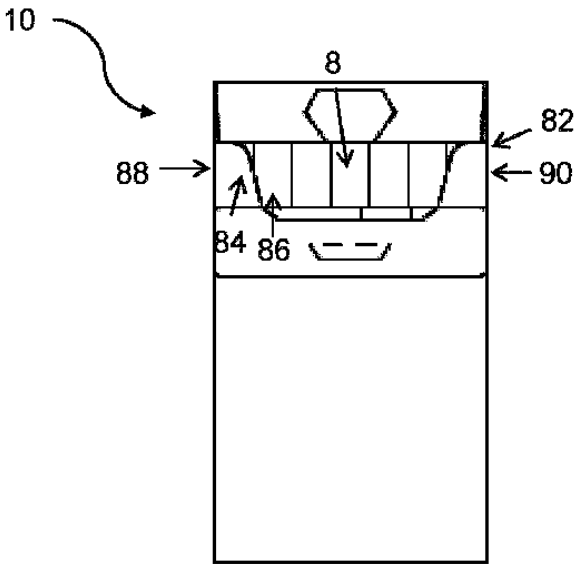


FIG. 3C

10

20

30

40

50

【図 4 A】

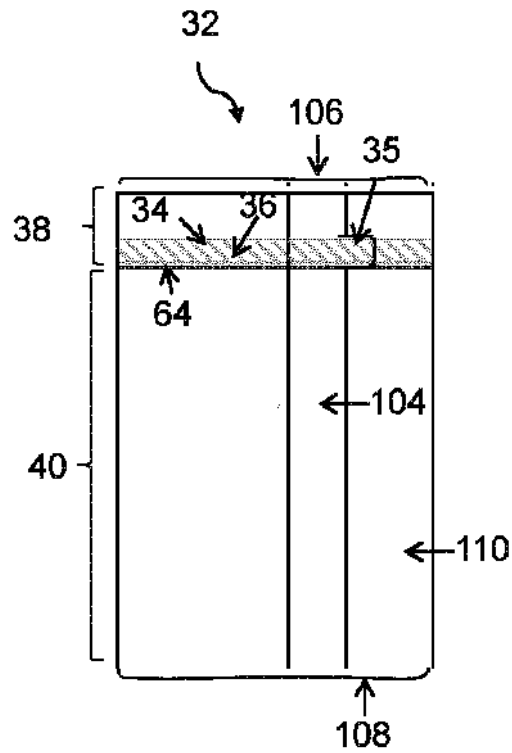


FIG. 4A

【図 4 B】

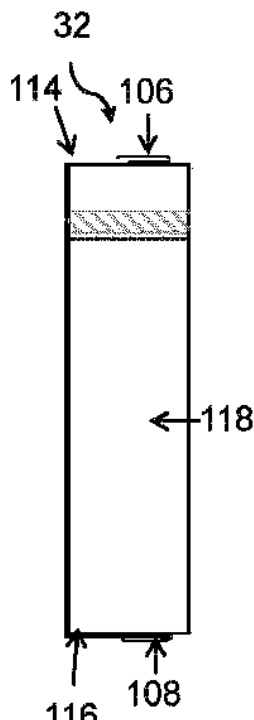


FIG. 4B

【図 4 C】

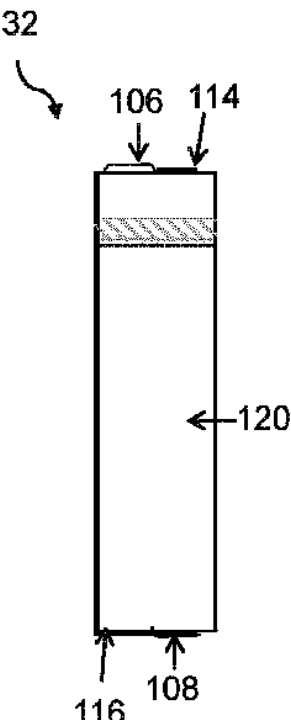


FIG. 4C

【図 4 D】

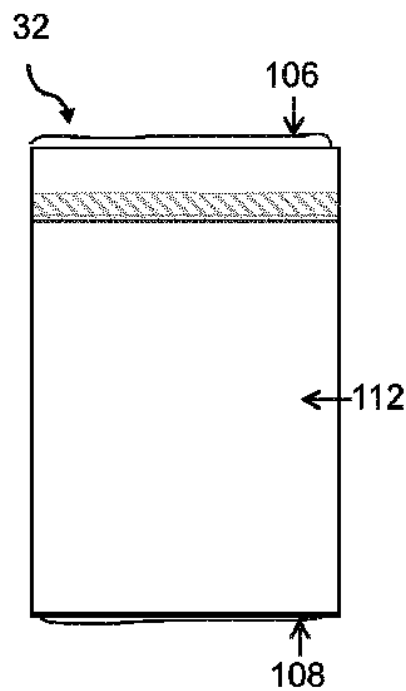


FIG. 4D

10

20

30

40

50

【図 5 A】

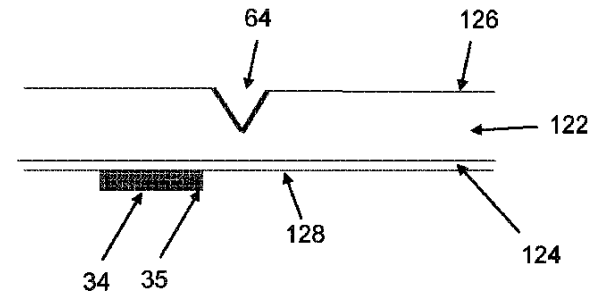


FIG. 5A

【図 5 B】

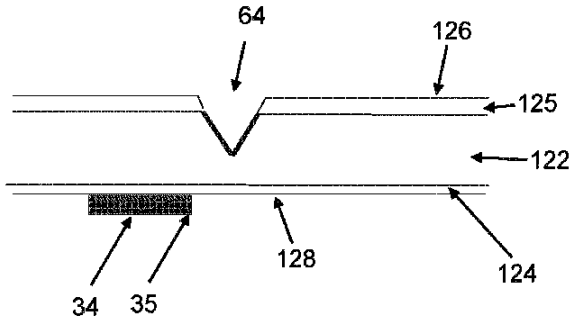


FIG. 5B

【図 6】

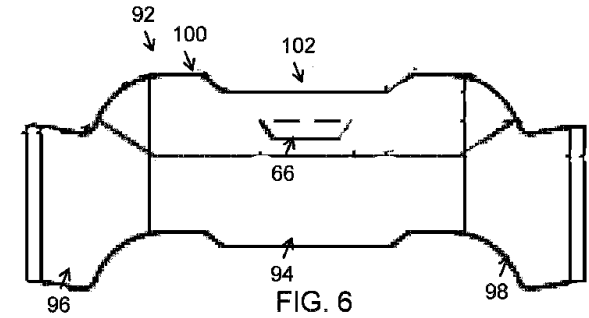


FIG. 6

【図 7】

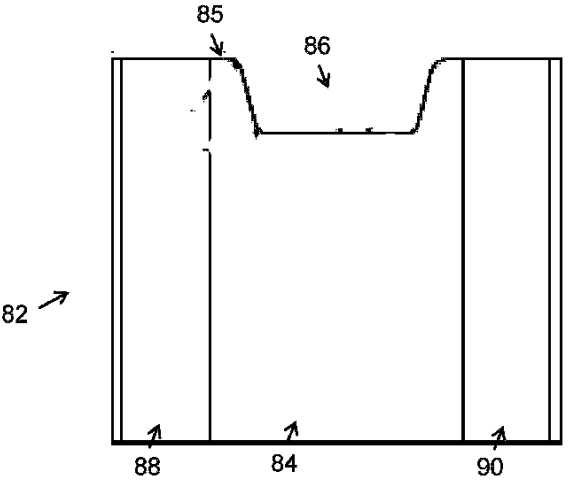


FIG. 7

10

20

30

40

50

【 図 8 】

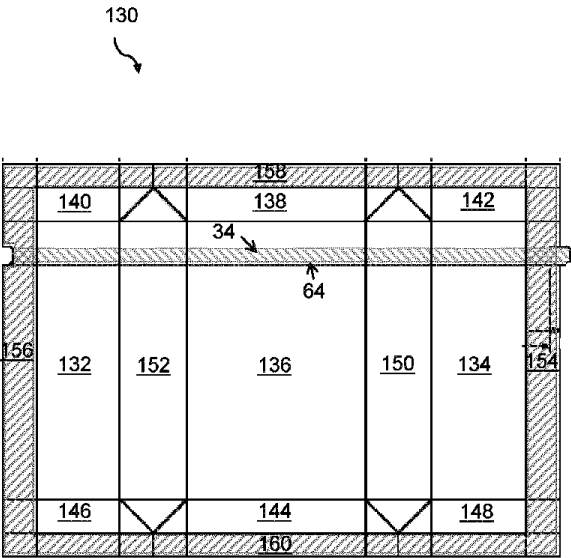


FIG. 8

10

20

30

40

50

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

page 1 of 2

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2023/062500

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 2015/132770 A1 (GD SPA [IT]) 11 September 2015 (2015-09-11) abstract page 5, paragraph 1 - page 6, paragraph 2; figures 5-9 -----	5-8
Y	US 2021/032012 A1 (FRANZEN JENS [DE]) 4 February 2021 (2021-02-04) paragraphs [0028] - [0029] -----	14
Y	WO 2014/067658 A1 (PHILIP MORRIS PROD [CH]) 8 May 2014 (2014-05-08) page 10, paragraph 7-8; figures 1-3 -----	14, 15
A	EP 3 196 148 A1 (G D SOCIETA' PER AZIONI [IT]) 26 July 2017 (2017-07-26) abstract; figures 1-17 -----	5-8
A	WO 2009/148037 A1 (JAPAN TOBACCO INC [JP]; MURAI HIROKO [JP] ET AL.) 10 December 2009 (2009-12-10) machine translation; figures 1-7 -----	5

1

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (April 2005)

page 2 of 2

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/EP2023/062500

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of Item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

see additional sheet

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☒ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims.; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

International Application No. PCT/EP2023 /062500

FURTHER INFORMATION CONTINUED FROM PCT/ISA/ 210

This International Searching Authority found multiple (groups of) inventions in this international application, as follows:

1. claims: 1-15

A packet for smoking articles comprising an outer casing having a hinged lid, a cellulose-based pouch provided with a tear tape which is placed above the hinge.

1.1. claims: 9-12

The packet comprising an inner frame disposed between the pouch and the outer casing.

1.2. claims: 5-8

The packet comprising a stiffening element disposed within the pouch.

1.3. claims: 14, 15

Ratio of the height of the front panel of the lid to the height of the rear panel of the lid is between 1.8 and 2.2.

10

20

30

40

50

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2023/062500

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 9742098	A1	13-11-1997	AT 210058 T AU 727499 B2 CA 2253822 A1 CN 1217698 A CZ 296675 B6 DE 69708887 T2 EP 0921995 A1 ES 2165606 T3 HK 1019869 A1 HU 9902732 A2 JP 2000509681 A MY 119508 A NZ 332810 A PL 329740 A1 RU 2189927 C2 US 6000539 A WO 9742098 A1 ZA 973935 B	15-12-2001 14-12-2000 13-11-1997 26-05-1999 17-05-2006 27-06-2002 16-06-1999 16-03-2002 03-03-2000 28-12-1999 02-08-2000 30-06-2005 28-07-2000 12-04-1999 27-09-2002 14-12-1999 13-11-1997 04-12-1997
WO 2022023700	A1	03-02-2022	BR 112023001645 A2 EP 4188834 A1 TW 202218952 A WO 2022023700 A1	23-02-2023 07-06-2023 16-05-2022 03-02-2022
WO 2021170730	A1	02-09-2021	BR 112022016831 A2 EP 3871997 A1 EP 4110707 A1 WO 2021170730 A1	11-10-2022 01-09-2021 04-01-2023 02-09-2021
WO 2015132770	A1	11-09-2015	DE 112015001121 T5 PL 231421 B1 WO 2015132770 A1	01-12-2016 28-02-2019 11-09-2015
US 2021032012	A1	04-02-2021	CN 110678401 A EA 201992451 A1 EP 3625149 A1 JP 7284099 B2 JP 2020519541 A KR 20200007927 A US 2021032012 A1 WO 2018210833 A1	10-01-2020 02-04-2020 25-03-2020 30-05-2023 02-07-2020 22-01-2020 04-02-2021 22-11-2018
WO 2014067658	A1	08-05-2014	NONE	
EP 3196148	A1	26-07-2017	EP 2874909 A2 EP 3196147 A1 EP 3196148 A1 JP 6251260 B2 JP 2015523289 A KR 20150031416 A WO 2014013479 A2	27-05-2015 26-07-2017 26-07-2017 20-12-2017 13-08-2015 24-03-2015 23-01-2014
WO 2009148037	A1	10-12-2009	JP 5240441 B2 JP 2009292519 A TW 201006734 A WO 2009148037 A1	17-07-2013 17-12-2009 16-02-2010 10-12-2009

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (April 2005)

フロントページの続き

,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,D
E,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,ME,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,S
M,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,
AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CV,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,
ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IQ,IR,IS,IT,JM,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,L
A,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,MG,MK,MN,MU,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,P
H,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,
UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

弁理士 横尾 太郎

(72)発明者 フランツェン, イェンス

スイス国 1182 ジリ, ルート・ド・スーバンシー 29

Fターム(参考) 3E068 AA21 AB05 AC02 BB02 BB05 CC03 CC26 CC30 CD02 CE02
DD02 DD08 DD40 DE10 DE13 DE14 EE22 EE32 EE40

【要約の続き】

れ、且つパウチの周りに、パウチの長さに対して横断方向に延在するように配置されて、開封テープがヒンジの
上に位置決めされるようにする。開封テープは、パウチの底部セクションからパウチの上部セクションを分離す
るために、使用者によって引っ張られるように構成される。